

## InterRisk Thailand Flood Report <2022 No.09>

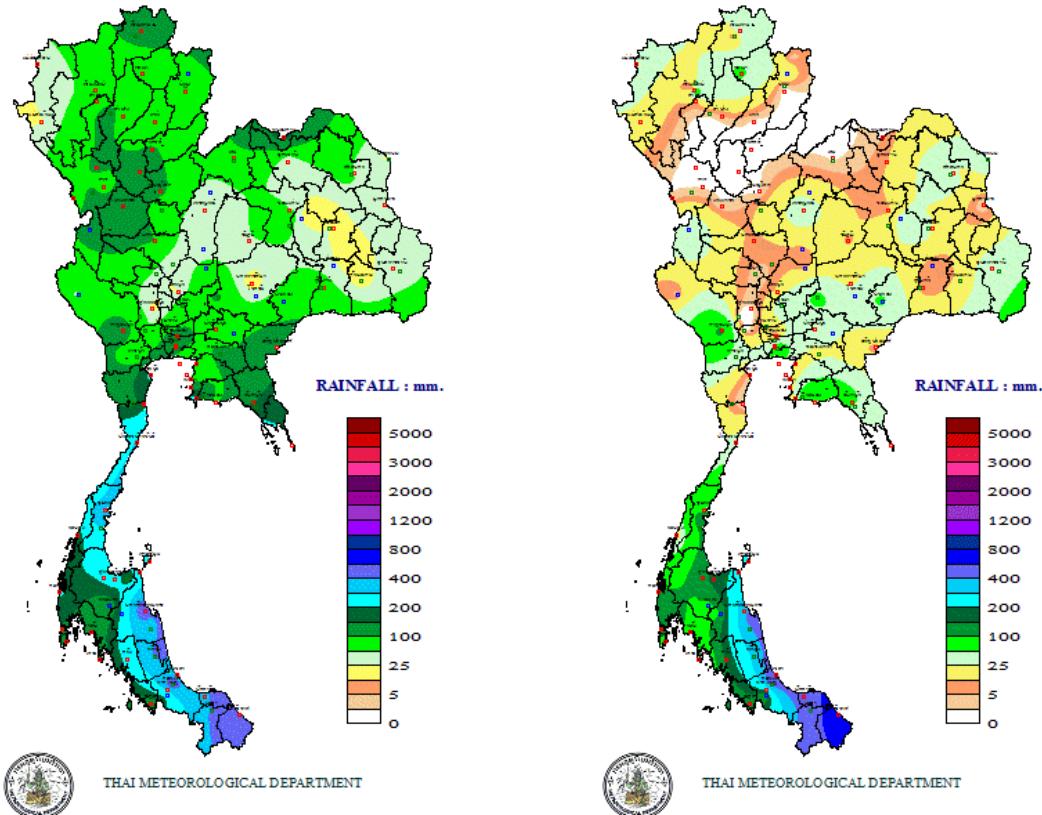
### タイの洪水情報

#### [概要]

- 昨年の同時期と比較して、今年の累積降水量は高地を中心に減少しています。
- 3月上旬から中旬にかけて全国的に気温が高くなります。また南西モンスーンの影響による雨も想定されます。
- チャオプラヤ川流域のすべての主要ダムの貯水量は今年度の傾向として減少傾向にあります。Sirikit ダムの貯水レベルは昨年 2022 年より高いものの、2011 年よりわずかに低くなっています。また Bhumibol ダムの貯水レベルは 2011 年、2022 年よりも高くなっています。
- チャオプラヤ川流域の主要河川・運河では総じて水位は低く現時点で洪水リスクは高くありません。

#### 降雨量

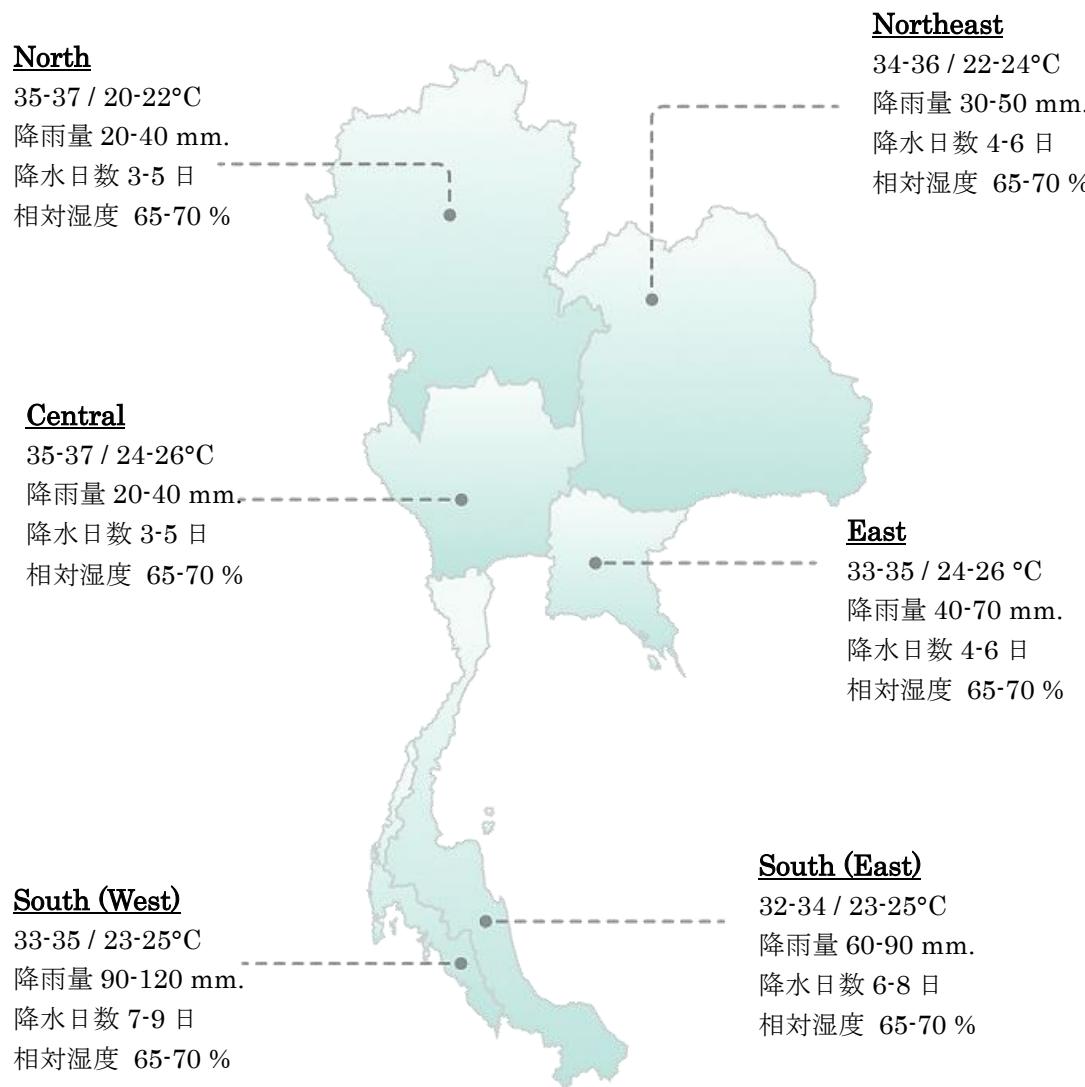
下図は累積降雨量（左図：2022年1月1日～2月28日、右図：2023年1月1日～12月28日）を示しています。2022年と比較すると、今年の1月1日から2月28日までの総降水量は、特に高地で大幅に少なくなっています。昨年の高地の総降水量は50～200 mmの範囲ですが、今年の高地の総降水量はほとんどが5～50 mmの範囲です。



## 天気予報

3月上旬から中旬にかけて全国的に気温が高くなり、特に高地の多くでは気温が40~43°Cに達すると予想されています。また南西モンスーンの影響による雨も想定されています。

全体として平均気温は平年並みに近く降水量は平年よりやや少なめです。



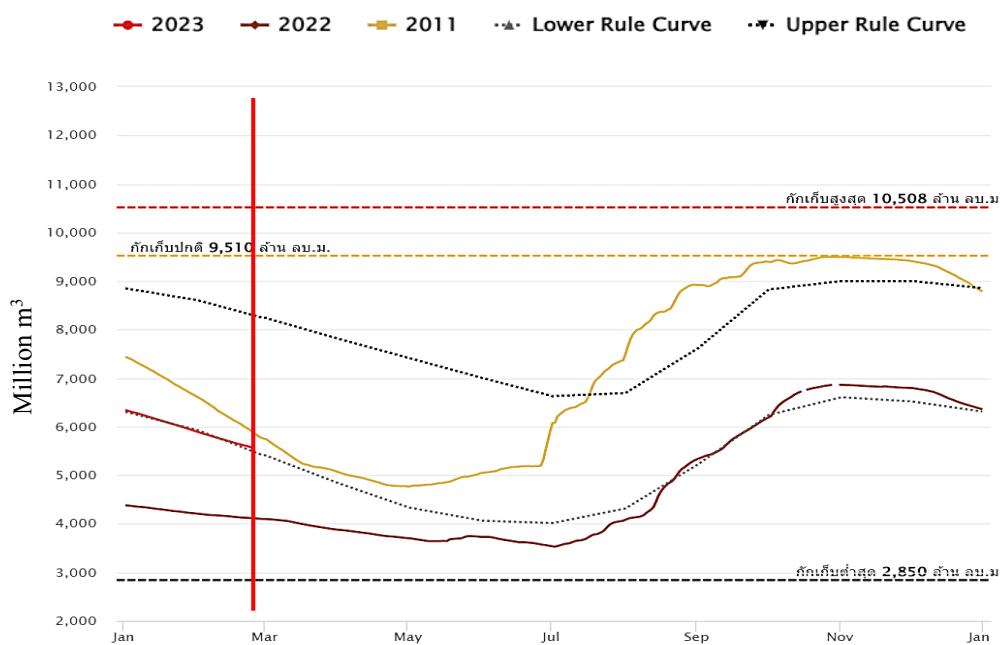
## 2023年の水管理

王立灌漑局(Royal Irrigation Department)のディレクターPrapit Janma 氏は、昨年の雨季に RID が洪水被害を軽減するための水管理対策を 13 回にわたり実施したと報告しています。実際に洪水の影響を受けた 58 州で合計 2,260 台の排水ポンプ等による対策が実施されています。雨季後(2022 年 11 月 1 日時点) の全国の水収支は、前年 2021 年より 54 億 9500 万 m<sup>3</sup> 多い 640 億 m<sup>3</sup> でした。

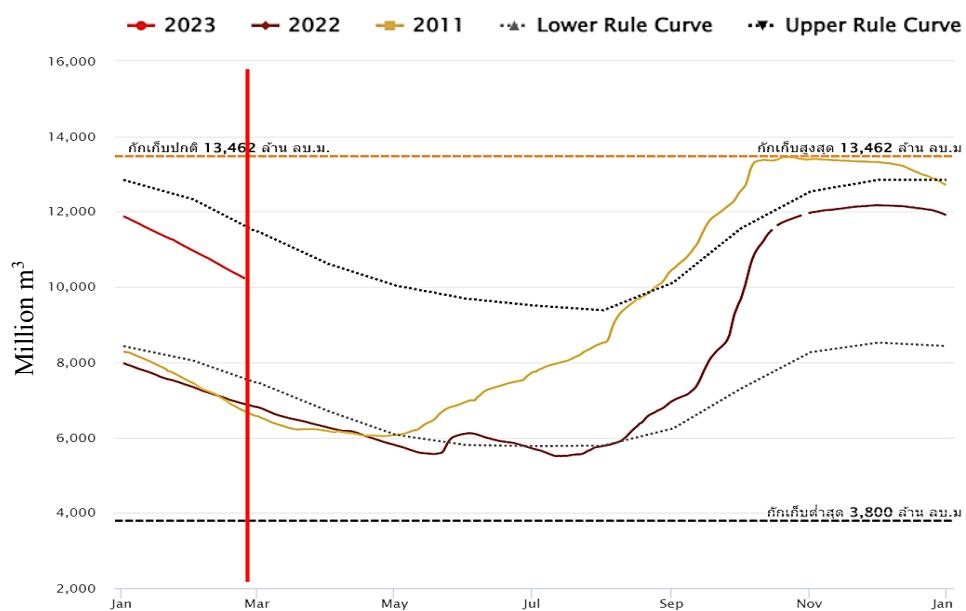
今年は渇水期の水管理に 437 億 4000 万 m<sup>3</sup> の水が備蓄され、そのうち 140 億 7400 万 m<sup>3</sup> がチャオプラヤー川流域の 4 つの主要ダムに蓄えられています(うち 62%が干ばつ期に備えて、38%が雨季開始時の備えとして備蓄)。

## ダム貯水量 (Sirikit ダム、Bhumibol ダム)

貯水量 : Sirikit ダム (58%, 2023 年 2 月 28 日)



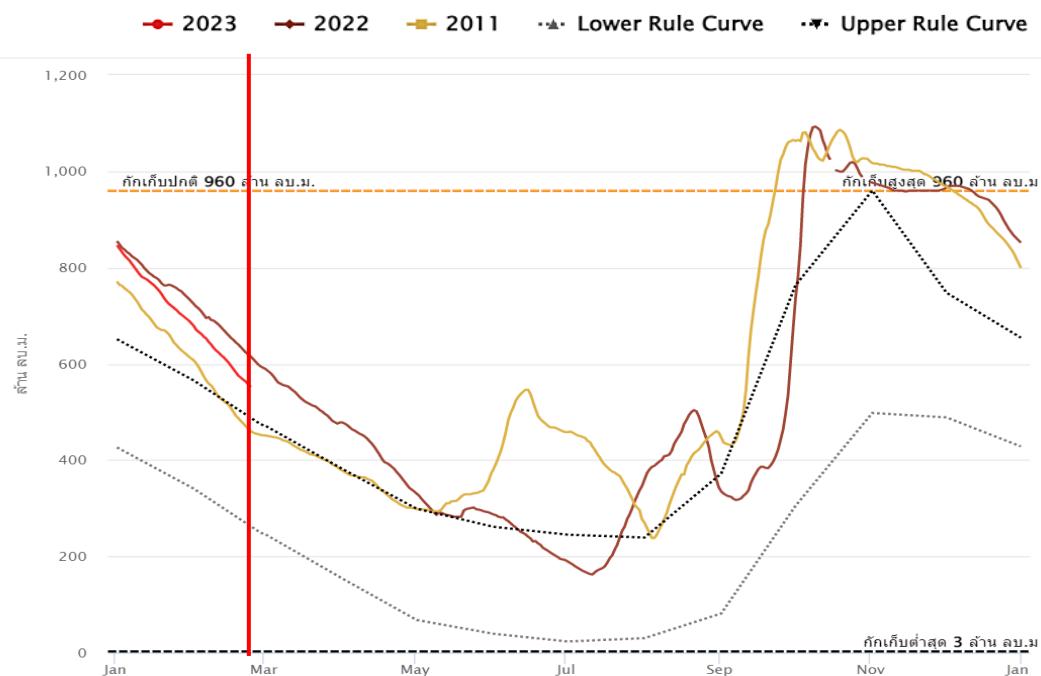
貯水量 : Bhumibol ダム (75%, 2023 年 2 月 28 日)



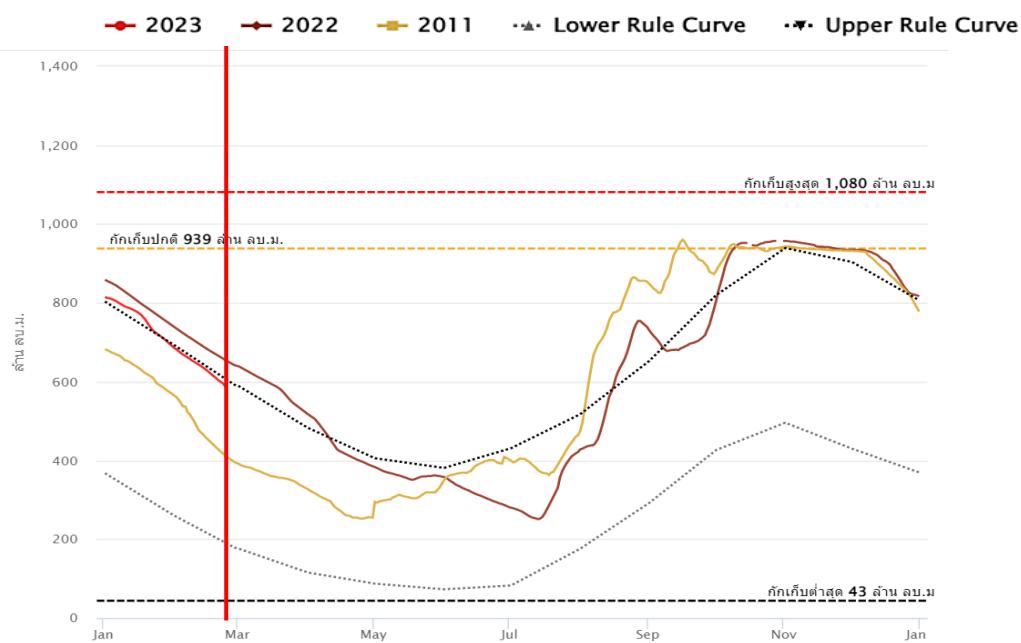
現在の Sirikit ダムの貯水量は、昨年 2022 年と大洪水が発生した 2011 年の同時期と比較して大幅に増加しています。また、Bhumibol ダムの貯水量は 2022 年、2012 年と比較して増加しています。一方で、今年度の傾向としてはいずれのダムの貯水量も減少傾向にあります。

## ダム貯水量 (Pasak ダム、Kwaenoi ダム)

貯水量 : Pasak ダム (55%, 2023 年 2 月 28 日)



貯水量 : Kwaenoi ダム (60%, 2023 年 2 月 28 日)



現時点の Pasak ダムと Kwaenoi ダムの貯水量は 2022 年より少ないものの、2011 年よりは多くなっています。いずれも貯水量は今年度の傾向として減少傾向にあります。

## チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流）

雨季が終わってから約3か月が経過し、Ping川、Wang川、Yom川、Nan川の水位は低くなっています。チャオプラヤダム上流のチャオプラヤ川の水位も堤防より大幅に低くなっています。現時点ではチャオプラヤダム上流の河川において洪水リスクは高くありません。

### チャオプラヤ川の水位（2023年2月28日時点）



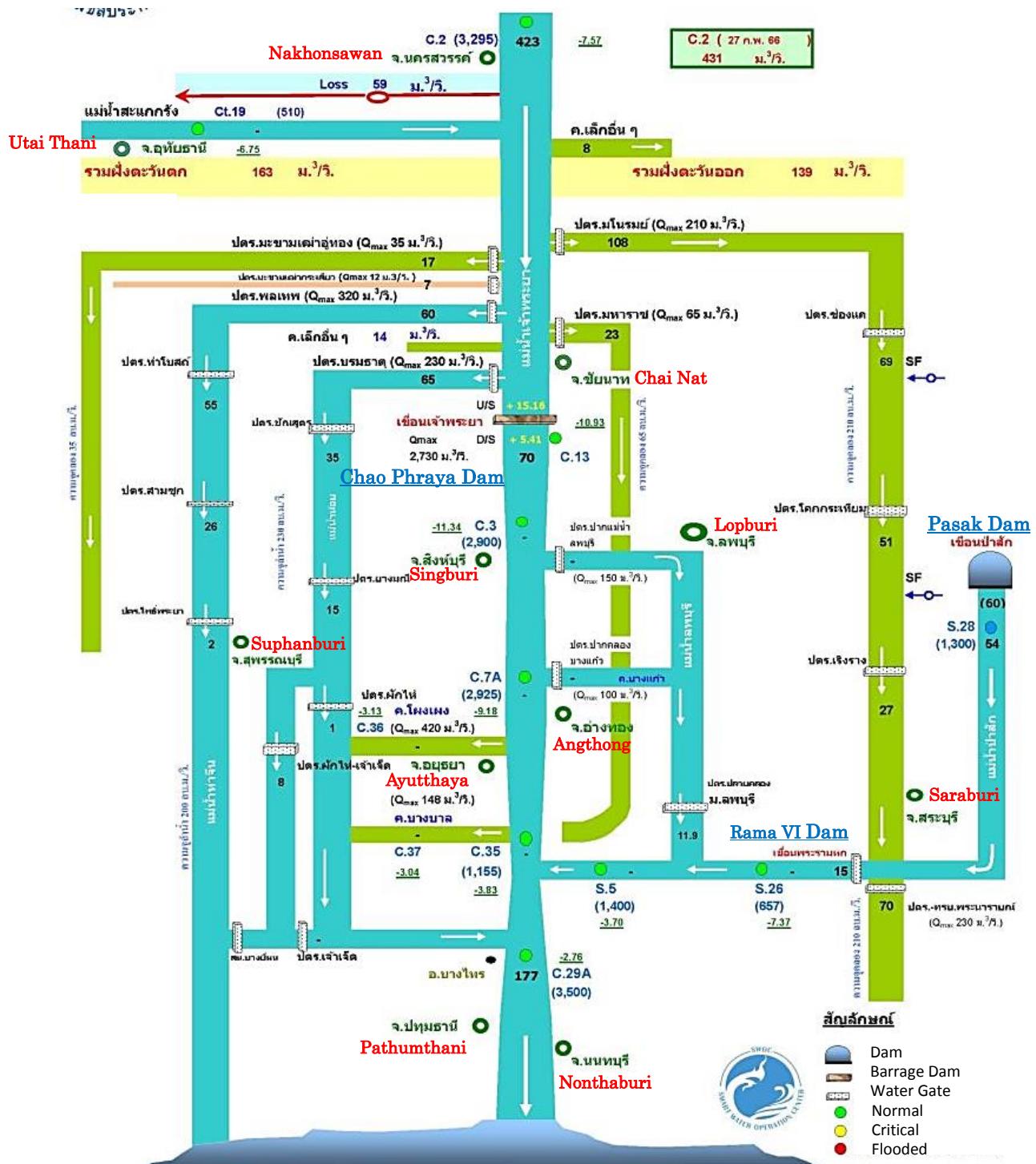
### 【備考】

- 河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量 ( $m^3/sec$ )、カッコに示されている数値：河川流量 ( $m^3/day$ )
- 緑文字・+（プラス）-（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）
- 水位レベルの U/S、D/S は m で表示されています。

## チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流）

チャオプラヤダム下流の状況はチャオプラヤダム上流と同様です。川の水位は堤防よりも低く、現時点で洪水リスクは高くありません。

### チャオプラヤ河川水位（2023年2月28日時点）



#### 【備考】

- 河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量 (m<sup>3</sup>/sec)、カッコに示されている数値：河川流量 (m<sup>3</sup>/day)
- 緑文字・+（プラス）-（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離 (0 になった場合、洪水が発生)
- 水位レベルの U/S, D/S は m.で表示されています。

## 参照

<https://www.tmd.go.th/forecast/monthly>  
<http://water.rid.go.th/flood/flood/daily.pdf>  
<https://www1.rid.go.th/index.php/th/2019-04-26-19-42-45/1473-30-01-2566>  
[https://www3.tmd.go.th/media/forecast-threemonthcountry/newsjfm\\_2023.pdf](https://www3.tmd.go.th/media/forecast-threemonthcountry/newsjfm_2023.pdf)  
<https://www.thaiwater.net/water/dam/large>  
[http://water.rid.go.th/flood/plan\\_new/chaophaya/Chao\\_up.php?cal2=24022023](http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=24022023)  
[http://water.rid.go.th/flood/plan\\_new/chaophaya/Chao\\_low.php?cal2=24022023](http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=24022023)

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアラ NS グループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽に寄せ下さい。

お問い合わせ先  
MS&AD インターリスク総研（株） 総合管理部 国際業務グループ  
TEL.03-5296-8920  
<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアラ NS グループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽に寄せ下さい。

お問い合わせ先  
InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.  
175 Sathorn City Tower. South Sathorn Road. Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120.  
Thailand  
TEL: +66-(0)-2679-5276  
FAX: +66-(0)-2679-5278  
<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。  
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2023